

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

<b>事業名</b>	柔道整復療養費等経営実態調査		<b>担当部局庁</b>	保険局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成25年度		<b>担当課室</b>	医療課		鈴木 康裕		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	「柔道整復師の施術に係る療養費について」 (平成22年5月24日保発0524第2号保険局長通知) 等				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	柔道整復師の施術所の施術所経営等の実態を明らかにし、算定基準の見直しなどの適正化の調査検討を行うための基礎資料とするとともに、柔道整復施術療養費等の施術の単価の改定の基礎資料とする。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	柔道整復師の施術所の施術所経営等の実態を明らかにし、算定基準の見直しなどの適正化の調査検討を行うための基礎資料とするとともに、柔道整復施術療養費等の施術の単価の改定の基礎資料とするための経費。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算				37		
		補正予算						
		繰越し等						
	計				37			
	執行額							
執行率(%)								
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	<b>成果指標</b>		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	柔道整復師の施術所の施術所経営等の実態を明らかにし、算定基準の見直しなどの適正化の調査検討を行うための基礎資料とするとともに、柔道整復施術療養費等の施術の単価の改定の基礎資料とするための経費であることから、定量的な指標を示すことはできない。			-	-	-	-	-
	達成度			%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	柔道整復師の施術所の施術所経営等の実態を明らかにし、算定基準の見直しなどの適正化の調査検討を行うための基礎資料とするとともに、柔道整復施術療養費等の施術の単価の改定の基礎資料とするための経費であることから、定量的な指標を示すことはできない。			-	-	-	-	-
				( )	( )	( )	( )	
<b>単位当たりコスト</b>	- (円/ )		算出根拠	-				
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	<b>主な増減理由</b>				
	経営実態調査		37	25年度新規要求				
	計		37					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	柔道整復師の施術所の施術所経営等の実態を明らかにし、算定基準の見直しなどの適正化の調査検討を行うための基礎資料とするともに、柔道整復施術療養費等の施術の単価の改定の基礎資料とするための経費であることから、広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	柔道整復師の施術所の施術所経営等の実態を明らかにし、算定基準の見直しなどの適正化の調査検討を行うための基礎資料とするともに、柔道整復施術療養費等の施術の単価の改定の基礎資料とするための経費であることから、国が実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果			平成21年11月の行政刷新会議において、柔道整復施術療養費は国民医療費の伸びを上回る勢いで増加しており、また、部位別数請求の地域差が大きいことから、多部位請求の適正化など給付の適正化が必要と指摘を受けた。また、平成22年11月には、会計検査院から、厚生労働大臣あてに柔道整復施術療養費の支給を適正なものとするよう意見を表示されたところであり、施術の単価の改定及び長期的視点に立った療養費のあり方の見直しについて検討し、適正化を図ることとしている。
予算監視・効率化チームの所見			
			本事業は、柔道整復師の施術所の施術所経営等の実態を明らかにし、算定基準の見直しなどの適正化の調査検討を行うための基礎資料とするともに、柔道整復施術療養費等の施術の単価の改定の基礎資料とするために行うものであり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高く、予算要求内容も適当である。
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—

※平成23年度実績を記入

平成23年度実績なし

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
平成23年度実績なし					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3		平成23年度実績なし			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					